

熊本県立菊池少年自然の家

# 利用の手引き

令和8年4月 作成





菊池の大自然のなかで陽気に、力強く雄飛する少年、少女が規律を守り、集団生活の中で和を生み出し、互いに助け合っている姿を現している。

## も く じ

- ☆ もくじ・・・・・・・・・・・・・・・・P 1
- ☆ 菊池少年自然の家とは・・・・・・・・P 2
- ☆ 所内マップ・本館案内・・・・・・・・P 3
- ☆ 屋内施設平面図・・・・・・・・P 4
- ☆ 利用のご案内・・・・・・・・P 5～6
- ☆ 利用上のお願い・・・・・・・・P 7～10
- ☆ 必要経費・・・・・・・・P 11
- ☆ 施設利用料金の減免の基準・・・・・・・・P 12
- ☆ 食堂の利用について・・・・・・・・P 13
- ☆ 健康・安全の確保・・・・・・・・P 14
- ☆ 本館非常口・消火器設置場所・・・・・・・・P 15
- ☆ 野外活動の留意事項・・・・・・・・P 16～18
- ☆ 主な研修活動の紹介・・・・・・・・P 19～20
- ☆ 入所式・退所式・つどいについて・・・P 21～22
- ☆ 寝具の使い方・整理について・・・・・・・・P 23～26
- ☆ キャンプ場の利用について・・・・・・・・P 27～29
- ☆ アクセス・・・・・・・・P 30
- ☆ 別紙（1）～（3）・・・・・・・・P 31～33

## 菊池少年自然の家とは

菊池少年自然の家は、清流あふれる菊池渓谷を望んだ杜の中に位置しており、恵まれた大自然の中で、多くの自然体験活動や宿泊体験をとおして様々な学びを提供しています。

サブネーム「学(まな)びの杜(もり) 清流(きよら)」には、清らかな川の流れと緑豊かな杜で、たくさんの方の学びを希望するとの思いが込められています。

平成27年にサブネームを募集し、泗水小学校の6年生の応募を参考にして決定しました。

青少年の「生きる力」を育むとともに、幼児から高齢者までが安心して活動できる環境づくりと生涯学習の振興を目的とした、山型(山間活動)の施設です。生涯学習社会における青少年教育施設として、学校やPTAでの利用はもちろん、サークルや職場、地域の子ども会、家族など、いろいろな仲間での利用ができます。



 熊本県立菊池少年自然の家

“きよらちゃん”

菊池の清流に住む妖精。

清流をイメージさせる青い髪と葉っぱをモチーフにしたスカート。自然の家で体験できる、ニジマスつかみのニジマスイメージした魚の形の髪留め。頬のそばかすはニジマスの模様を表しており、自然の家を訪れる人々を見守っています。



### 活動目的

菊池少年自然の家は、自然体験や宿泊体験、交流体験などの場や機会を提供し、青少年の「生きる力」を育みます。

### 活動目標

菊池少年自然の家では、「生きる力」を育むために、次のような「体験力」を培います。

#### ○自分と出会う力

様々な体験活動の中で…

「自分の意志を決定する力」、「自分の意志を表現する力」、「自分と向き合う力」

#### ○人と出会う力

様々な体験活動を通して…

「友達と協力する力」、「友達と協調する力」、「友達を尊重し援助する力」

#### ○自然と出会う力

「自然の厳しさに対しチャレンジする力」、「自然の美しさや壮大さに対し畏敬の念を抱く力」、  
「自然の素材を利用して、創造する力」



キャッチフレーズとの関連

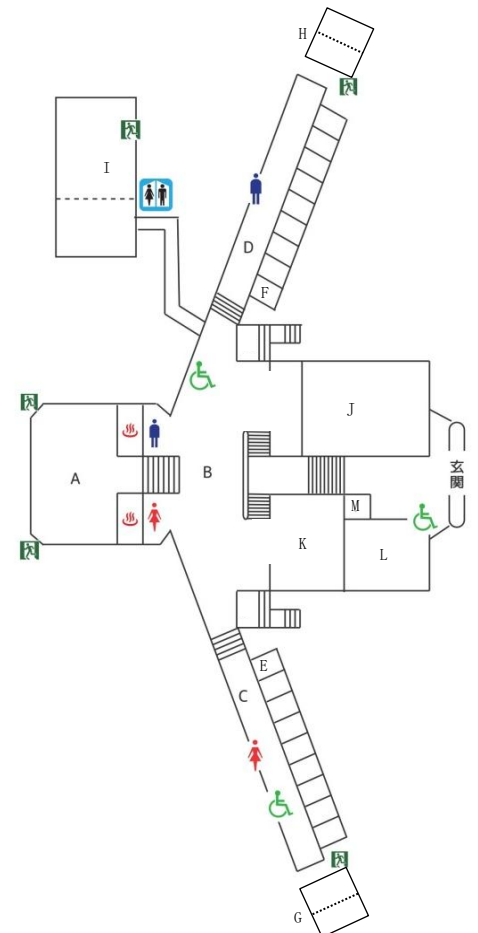
- ・新しい仲間と出会い、仲良く過ごす
- ・新しい自分と出会い、元気がでる
- ・美しい自然を発見する

# 所内マップ

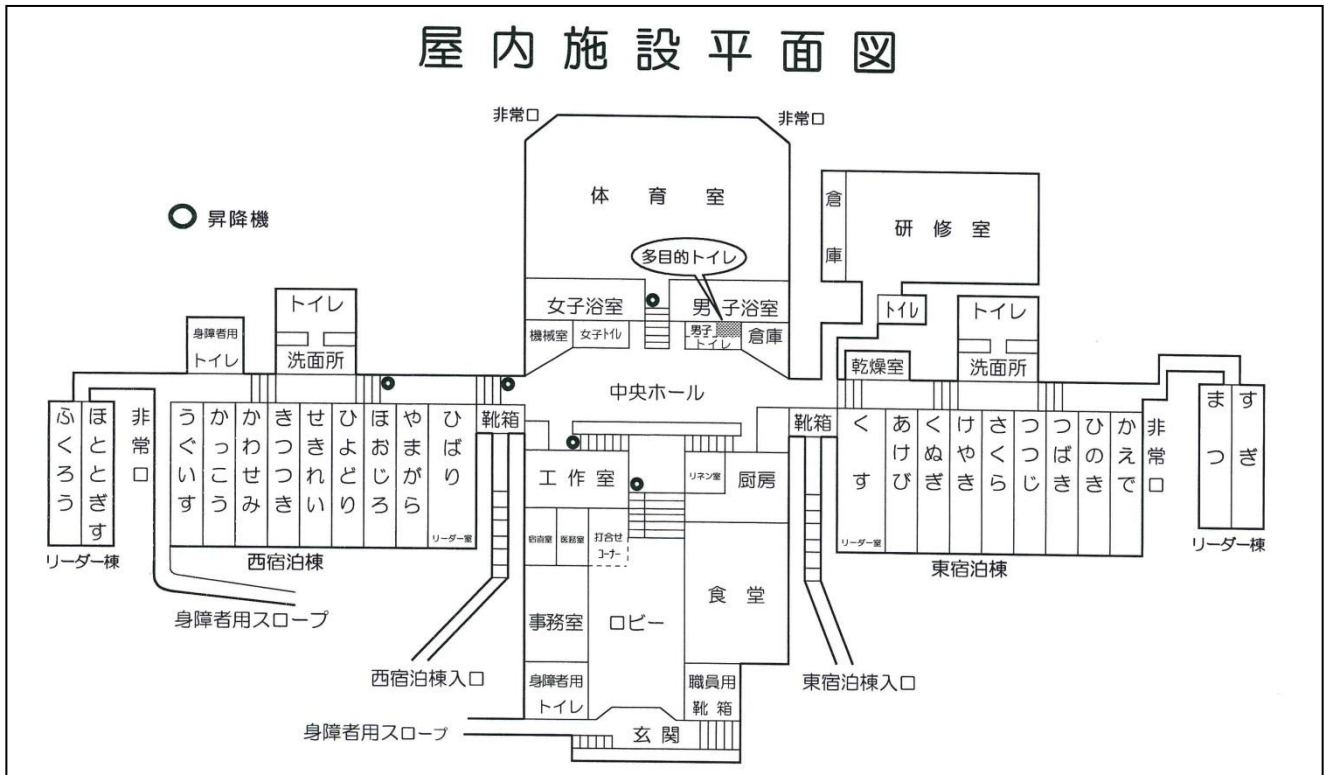


## 〈施設概要〉

A	体育室	最大200人収容
B	中央ホール	
C	西宿泊棟	} 最大208人収容
D	東宿泊棟	
E	西リーダー室	最大7人収容
F	東リーダー室	最大7人収容
G	西リーダー棟	最大8人収容 (4人部屋×2)
H	東リーダー棟	最大8人収容 (4人部屋×2)
I	研修室	最大120人収容
J	食堂	最大120人収容
K	工作室	最大40人収容
L	事務室	
M	打ち合わせコーナー	
♻️	浴室	男女各20人収容 (シャワー各8基)
☆	敷地面積	81,305 m <sup>2</sup>
☆	建物面積	2,882.8 m <sup>2</sup>
☆	キャンプ場	最大100人収容 Aサイト10サイト Bサイト10サイト 炊事場2ヶ所 シャワー室 (温水) ※男女各4基
☆	大駐車場	普通車約34台駐車可
☆	玄関前駐車場	普通車約13台駐車可



# 屋内施設平面図



**宿泊室**

12人収容



**体育室**

バドミントンコート2面分



**研修室 (120人収容)**

長机30台、パイプ椅子約130個あり



**食堂**

セルフサービス



**浴室・脱衣所**

シャワー：男女各8基、浴槽：男女各2カ所



**打合せコーナー**

入所手続きや代表者会議はコチラ



**多目的トイレ**

どなたでも利用できます



**車椅子昇降機**

ご利用の際は事務室へお申し出ください

## 利用のご案内

団体利用は5名以上、家族利用は3名（親子の場合2名）以上から利用できます。

このような団体にご利用いただいています。

- |         |          |        |          |
|---------|----------|--------|----------|
| ■集団宿泊教室 | ■幼稚園・保育園 | ■合宿・研修 | ■PTA 行事  |
| ■企業研修   | ■スポーツクラブ | ■福祉施設  | ■講演会・発表会 |
| ■子ども会   | ■家族      | ■グループ  | etc...   |

### 利用までの流れ

#### (1) 施設の空き状況の確認

- 一般団体の申込みは、利用日の1ヶ月前までをお願いします。
- ご希望の日時の空き状況をお電話、事務室でご確認ください。

#### (2) 申込みの受け付け

- お電話で利用団体名・活動内容・人数・代表者連絡先等をお聞きします。

#### (3) 事前相談

- 申込み完了後、利用責任者の方を中心に来所され、利用の目的やプログラムの確認を行います。その際、利用に必要な書類の説明をします。

#### (4) 書類提出

- 必要書類を記入の上、ご利用2週間前までにメールまたはFAXにて提出をお願いします。HPよりダウンロードができます。

必要書類：①利用許可申請書 ②利用計画書 ③引率者名簿 ④利用者名簿  
⑤確認表 ⑥食物アレルギー確認票

必要に応じて提出：⑦食物アレルギー他個人票 ⑧施設等利用料免除申請書  
⑨確認表変更届

#### (5) 許可

- 利用許可申請書を受け、本所から利用許可書等を送付します。当日ご持参の上ご提示ください。

## 入所から退所まで

### 【入 所】

#### (1) 出発前の連絡

- 到着が予定より遅れる場合は、必ずご連絡ください。
- 人数に変更があれば、直ちにご連絡ください。  
(食事数変更は、入所前日17:00までにご連絡ください。)

#### (2) 到着・入所時の打ち合わせ

- 各宿泊棟出入り口から入所し、荷物は代表者の指示のもと、移動してください。
- 救護車1台以外は、大駐車場をご利用ください。
- 代表者は事務室受付窓口においでください。入所式前に打ち合わせを行います。  
こちらで利用許可書をご提示ください。
- プログラムの調整及び宿舍の確認を行い、必要に応じて鍵を受け取ってください。  
研修内容、部屋の変更、連絡等は随時行ってください。
- 研修者は入所式に備えてください。

#### (3) 入所式とオリエンテーション

- 入所式は団体の進行で行ってください。(進行例P21)
- オリエンテーションでは施設の目的や概要、利用方法や生活の仕方について説明します。  
(15~20分)

### 【退 所】

#### (1) 退所時の部屋点検

- 部屋の荷物はすべて中央ホールに出し、忘れ物確認、宿舍の整理整頓等、各団体で点検を行ってください。その後、自然の家職員による部屋点検を行います。
- 自然の家職員による部屋点検が終了したら、シーツと枕カバーは部屋ごとにリネン室前の返却袋に返却してください。
- 受け取った鍵は、自然の家職員に返却してください。

#### (2) 退所式から退所まで

- 退所式は団体の進行で行ってください。(進行例P21)
- 利用団体アンケート用紙を事務室へ提出してください。

## 利用上のお願い

### 1 基本の生活日課

菊池少年自然の家では、基本の生活時間・日課が決められています。基本日課表をもとに、プログラムの作成をお願いします。

＜ 宿泊棟 基本日課表＞	
時間	活動内容
6:30	起床
7:00	朝のつどい・清掃活動
① 7:30	朝食（120を超える団体は①②の2交代になります。）
② 8:20	
8:40	活動準備 ※退所団体は退所準備、リネン返却、部屋点検
9:30	午前の活動（活動内容によっては9:00から）
① 12:00	昼食（120を超える団体は①②の2交代になります。）
② 12:50	
13:00	活動準備
13:30	午後の活動（活動内容によっては13:00から）
16:30	代表者会
17:00	夕べのつどい（任意）
① 17:30	夕食（120を超える団体は①②の2交代になります。） ※入浴（時間をご相談ください）
② 18:20	
19:00	活動準備
21:00	就寝準備
22:00	消灯・就寝

### 2 生活について

#### 宿泊室では…

- 自分の荷物は常に整理しておきましょう。
- ベッドのはしごは、静かに上り下りしましょう。
- 部屋では暴れたり、大声で叫んだりないようにしましょう。
- 消灯後は、静かに休みましょう。起床の放送が鳴るまでは、部屋の中で静かに待ちましょう。

#### 食堂では・・・

- 食事の前には必ず手を洗いましょう。
- 食堂ではセルフサービスです。台拭きやヤカンの片付けなど、きれいに後片付けをしましょう。
- 食事のマナーを守り、友達と仲良く食べましょう。

#### 浴室・トイレでは・・・

- 湯船には、体をよく洗ってから入り、タオルは湯船の中に入れてないようにしましょう。
- 熱いお湯が出るので、ヤケドをしないようにしてください。
- トイレでは、備え付けの紙以外は使わないようにしてください。スリッパもきれいに並べましょう。

### 3 お願い

□ 貴重品の管理について

- 部屋を離れる際は、貴重品は必ず身につけておいてください。
- 現金・貴重品については、事務室の金庫にて、団体毎お預かりすることもできます。

□ 喫煙について

- 受動喫煙の防止を定めた「健康増進法」に従い、施設内建物及び敷地内すべてを「禁煙」とさせていただきます。



□ 飲酒について

- 当施設では、原則「飲酒禁止」としています。詳しくは別紙1「飲酒について」(P31)をご覧ください。

□ 携帯電話の使用について

- 他のお客様のご迷惑となりますので、マナーを守って使用してください。
- 充電は必要最低限にしてください。
- 自己責任で保管してください。(充電したまま外出しない等)

□ 自動販売機について

- 購入した商品は布団の上で飲まないでください。
- 立ち飲み、歩きながら飲むなどの行為はしないでください。
- 缶やペットボトルは、自動販売機横のゴミ箱へ捨ててください。

□ 洗濯機について

- 西棟にある1台のみ使用可能です。
- 21時30分(就寝準備)には終了するように使用して下さい。
- 洗剤、ハンガー等は各利用団体でご準備いただき、各部屋で干してください。



□ 持ち込んだごみについて

- ゴミ袋代1枚50円で引き取りが可能です。
- 自然の家が提供した材料等のゴミについては自然の家が処分します。

□ 冷房・暖房について

- 各部屋で管理をお願いします。また、就寝時間以降は防犯のため部屋の扉や窓を閉めていただくよう、お願いします。

□ 防犯対策について

- 当施設では、防犯対策としまして、防犯カメラを設置しています。別紙2「不審者対策について」(P32)をご覧ください。

□ 施設・設備について

【多目的トイレ】

- ・どなたでも利用できます。ただし、トイレ内のシャワーは使用しないでください。

【中央ホール】

- ・床を汚したり、傷つけたりするような行為は禁止です。他の利用者の迷惑にならないように、静かに過ごしてください。※走り回って、転んだり、周囲の物にぶつかったりしてケガをしている事例もあります。

【車椅子昇降機】

- ・当施設には車椅子昇降機があります。使用される場合は、事務室へご連絡ください。

【体育室】

- ・子ども達だけの使用はできません。引率の先生・保護者の監督下で使ってください。利用を希望される時は、事務室にお尋ねください。

【宿泊室】

- ・宿泊棟の布団の上での飲食は禁止します。宿泊室ベッドの2段目の使用は、特に注意をお願いします。※飛び降りない、2人で乗らない、天井に頭をぶつけないように！など

【非常口】

- ・自分がいる場所から一番近い非常口の場所を常に確認しておきましょう。緊急時は、基本的に自然の家職員の指示に従ってください。避難後の集合場所は、原則的に「つどいの広場」、最終避難場所は大駐車場です。

【耐震の梁について】

- ・平成26年度の耐震工事に伴い、宿泊棟・研修室等に耐震の梁が設置されています。登る、ぶら下がる等の行為はしないでください。また、館内・屋外では梁に注意して活動してください。

□ 寝具類の使用・部屋点検について

- ・一人につき、シーツ2枚、枕カバー1枚を使用してください。
- ・シーツ、枕カバーは、リネン室前に準備してあります。
- ・詳細については「寝具の使い方、整理について」(P23～)をご確認ください。

□ 食事と食堂の利用について

- ・食中毒やノロウイルス感染予防のため、食事前の手洗いうがいの徹底にご協力ください。
- ・詳細については「食堂の利用について」(P13)をご確認ください。

□ お風呂について

- ・備え付けのシャンプー、石鹸、タオルはございません。
- ・たくさんの方が利用しますので、細やかな気配りをお願いします。

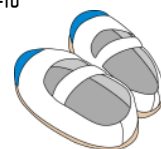
【入浴時の注意点】

- ① 浴槽にタオルをつけないようにしてください。
- ② 節水を心掛け、お湯の無駄遣いをしないようにしてください。
- ③ イス、洗面器の片付けを徹底してください。
- ④ 浴室から出る際は、きちんと体を拭いてから脱衣所にあがってください。
- ⑤ ドライヤーはブレードが落ちる可能性がありますので使用される場合はご相談ください。

- 支払いについて
  - ・領収書は原則、1 団体に 1 枚です。分ける必要がある場合は事前にご相談ください。
  - ・お支払いは振込みを推奨しています。
  
- 引率者の外出について
  - ・児童、生徒だけを施設に残して外出しないようお願いします。
  
- 駐車について
  - ・駐車は、「自然の家大駐車場」をご利用ください。本館前は活動場所となっておりますので救護車、荷物の運搬以外ではご遠慮ください。また、バス等の乗降も「自然の家大駐車場」でお願いします。

**❗ 持参品について ※名前のご記入をお願いします。**

- 野外活動にふさわしい服装（長そで・長ズボン・帽子・軍手）
- 着替え
- タオル
- ハンカチ
- ティッシュ
- 虫よけスプレー（マダニ、他害虫への対応）
- 室内用上ぐつ（スリッパ可）
- 洗面用具（石けん・シャンプーなど）
- ナップサック
- レインコート
- 筆記用具
- 水筒
- 懐中電灯（ナイトゲームの活動時、班に1～2本）
- 常備薬（必要な人）
- その他必要なもの
  - ★ 川遊び・ニジマスつかみ・・・かかとのあるサンダルまたは濡れてもいい靴
  - ★ キャンプ場での宿泊・・・懐中電灯、毛布・寝袋など
  - ★ 救急セット（各団体に1つ以上）P17参照



## 必要経費 ※全て税込み表示

(令和8年4月～)

【施設利用料金】			金額 (円)
宿泊を伴う施設等利用	宿泊棟利用 1泊につき	未就学児	無料
		小学生以上高校生以下	260
		一般の方	690
	キャンプ場利用 1泊につき	未就学児	無料
		小学生以上高校生以下	100
		一般の方	320
宿泊を伴わない施設等利用	1日につき	未就学児	無料
		小学生以上高校生以下	50
		一般の方	100

【食事代】			金額 (円)
小学4年生以下 3食 1,970円  小学5年生以上 3食 2,310円	朝食	小学4年生以下	510
		小学5年生以上	530
	昼食	小学4年生以下	700
		小学5年生以上	780
		幕の内弁当	780
		おにぎり弁当	530
	夕食	小学4年生以下	760
		小学5年生以上 ※増量は+400円	1,000

【食材料金】		金額 (円)
バーベキュー1セット (牛肉100g、豚肉150g、ウインナー2本、キャベツ1/12、ピーマン1/2、なす1/4) ※バーベキューに必要な炭や調味料は持参してください。		1,500
カレー1セット(5人分) (牛肉250g、玉ねぎ250g、じゃがいも250g、人参50g、ルウ250g)		2,000
生米(およそ0.8合)		110
炊きあがり米(およそ0.8合)		210
おにぎり1個		120
和食セット1セット(5人分) 味噌汁材料(木綿豆腐100g、わかめ8g、だし、あわせ味噌85g)、納豆5個		660

【シーツ・布団の洗濯代】	金額 (円)
シーツ2枚・枕カバーのセット	250
キャンプ場用毛布 ※2週間前までの申込みで対応可、 申込み以降の変更は不可	550

【ドリンク代】 ※500ml程度	金額 (円)
飲料水	150
麦茶	150
緑茶	150
スポーツドリンク	180

## 熊本県立青少年の家条例第9条に基づく施設利用代金の減免の基準

### 〈免除できる者〉

①手帳の交付を受けている者 →

- 身体障がい者手帳
- 療育手帳
- 精神障がい者保健福祉手帳

②特定の介護者（手帳交付されている者1名につき1名）

- 下記の表にあたる等級の手帳をお持ちの方は介護者（1名）も免除となる。

（これ以外の方は本人のみ免除）

身体障がい者手帳	療育手帳	精神障がい者保健福祉手帳
以下の表の級別に該当する障がいを有する者	A1、A2	1級
以下の表の左欄に掲げる障がいを2つ以上有する者	/	/

### 〈身体障がい者手帳について〉

#### 障がい区分・級別

障がいの区分		障がいの級別			
視覚障がい		1級から3級までの各級及び4級の1			
聴覚障がい		2級及び3級			
肢体不自由	上肢不自由	1級、2級の1及び2級の2			
	下肢不自由	1級、2級及び3級の1			
	体幹不自由	1級から3級までの各級			
	乳幼児期以前の非進行性の脳病変による運動機能障がい	<table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr> <td style="width: 30%;">上肢機能障がい</td> <td>1級及び2級（1上肢のみに運動機能障がいがある場合を除く。）</td> </tr> <tr> <td>移動機能障がい</td> <td>1級から3級までの各級（1下肢のみに運動機能障がいがある場合を除く。）</td> </tr> </table>	上肢機能障がい	1級及び2級（1上肢のみに運動機能障がいがある場合を除く。）	移動機能障がい
上肢機能障がい	1級及び2級（1上肢のみに運動機能障がいがある場合を除く。）				
移動機能障がい	1級から3級までの各級（1下肢のみに運動機能障がいがある場合を除く。）				
内臓障がい	心臓機能障がい	1級、3級及び4級			
	じん臓機能障がい	1級、3級及び4級			
	呼吸器機能障がい	1級、3級及び4級			
	ぼうこう又は直腸の機能障がい	1級及び3級			
	小腸機能障がい	1級から3級及び4級			
	ヒト免疫不全ウイルスによる免疫機能障がい	1級から4級までの各級			
	肝機能障がい	1級から4級までの各級			

※ 施設利用料のみ免除されます。

※ ご不明な点がございましたらお問合せください。

## 食堂の利用について

### 1 食事の料金および提供時間帯

	料 金	提供時間帯	120名以上の場合（2交代）
朝食	小学4年生以下 510円	7:30 ~ 8:10	7:30~8:10 / 8:20~9:00
	小学5年生以上 530円		
昼食	小学4年生以下 700円	12:00 ~ 12:40	12:00~12:40 / 12:50~13:30
	小学5年生以上 780円		
夕食	小学4年生以下 760円	17:30 ~ 18:10	17:30~18:10 / 18:20~19:00
	小学5年生以上 1,000円		

※食堂の定員は120名ですが、場合によっては混雑を避けるため、2交代となる場合があります。

### 2 食物アレルギーへの対応について

- 食物アレルギーに関しては、「食物アレルギー確認票」に必要事項をご記入の上、2週間前までに提出してください。また、アレルギー申請者がいる場合は「食物アレルギー他個人票」も提出が必要です。特に相談が必要な場合は、「食物アレルギー確認票」を提出後、連絡してください。

### 3 食数の変更・キャンセルについて

- 【連絡方法】 ①菊池少年自然の家へ電話してください。  
 ②確認表変更届をFAXで送付してください。  
 ⇒ 菊池少年自然の家 電話番号（0968-27-0066）  
 Fax番号（0968-27-0880）

- 【受付時間】 ①食堂食の変更  
 食事数の変更は前日17:00まで。ただし、5食以上の大幅な変更は利用初日の7日前までにご連絡ください。  
 ②野外炊飯の食材数の変更  
 利用初日の7日前までにご連絡ください  
 ※上記受付時間以降の変更およびキャンセルについては原則的に全額いただくことになります。

### 4 弁当について

- 弁当は昼食時のみ対応可能です。ただし、弁当のご飯の大盛りはできません。
- 弁当の受け取りは当日11時以降、食堂にてお願いします。（配達はできません）

### 5 ゴミの処理について

- 利用団体の持ち込みによるゴミは原則持ち帰りですが、ゴミ袋代1枚50円で引き取ることも可能です。
- 食堂が提供する弁当、野外炊飯材料の残飯および弁当容器は、自然の家が処理します。
- 利用団体が持参する弁当の残飯は、自然の家が処理しますので、ゴミ袋を持参してください。

### 6 食材の持ち込みについて

- 館内への食材の持ち込みは禁止とします。
- キャンプや野外炊飯の為の食材の持ち込みは食中毒防止のため原則禁止とします。  
 なお食材を持ち込む場合は全食持ち込みをお願いします。

### 7 食堂から提供できる食材について

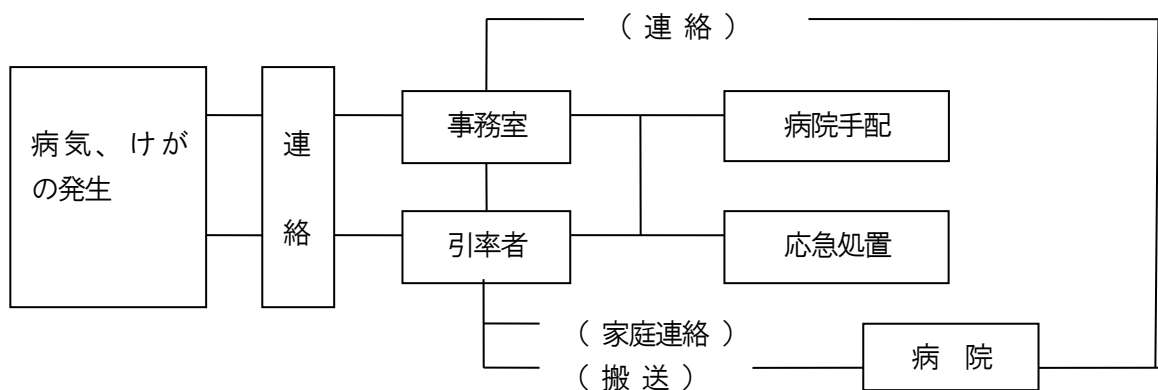
- 右表の食材が提供可能です。
- 詳しくは、「必要経費」(P11)をご覧ください。

バーベキュー材料（1セット）	1,500円
カレー材料（1セット5人分）	2,000円
生米（およそ0.6合）	110円
炊きあがり米（およそ0.8合）	210円
おにぎり1個	120円
和食セット材料（5人分）	660円

## 健康・安全の確保

当少年自然の家の利用では、家庭や学校・職場などを離れて宿泊を伴う研修を行いますので、健康管理及び安全のため、以下のことに十分配慮してください。

- ① 不注意による事故が発生しないよう十分気をつけてください。
- ② 各棟に引率者も宿泊し、指導ができるようにしてください。（同団体の宿泊がない棟は不要）
- ③ 体調を崩さないために、消灯及び起末時刻を守り、睡眠時間の確保に努めてください。
- ④ 非常時に備えておきましょう。
  - 避難経路を確認してください。最終避難場所は原則として「大駐車場」とします。
  - 非常時には、引率者は館内放送や職員の指示に従い、自団体の利用者を誘導してください。
  - 避難後、引率者は点呼のうえで、自然の家職員に報告してください。
- ⑤ 救急薬品は、各団体で持参してください。持病のある利用者がある場合は、事前に団体で把握して、必要な準備をしてください。



### 菊池市内医療機関一覧表

病院名	科名	電話番号	住所	備考
川口病院	緊急指定	0968-25-2230	菊池市隈府 823-1	
菊池中央病院	緊急指定	0968-25-3141	菊池市隈府 494	
城間クリニック	整形外科	0968-25-2506	菊池市隈府 952	
菊池眼科	眼科	0968-25-5678	菊池市片角 258-1	
木庭耳鼻咽喉科医院	耳鼻咽喉科	0968-24-2551	菊池市大琳寺 241-17	
宮本内科クリニック	内科・小児科	0968-25-2047	菊池市隈府 277-2	

### 菊池地域関係機関一覧表

病院名	電話番号	住所	備考
菊池警察署	0968-24-0110	菊池市隈府 790	
水源駐在所	0968-27-0041	菊池市重味 2515-7	
菊池広域連合消防本部 北消防署	0968-25-3053	菊池市赤星 2080	
熊本県菊池保健所	0968-25-4138	菊池市隈府 1272-10	

救急車要請：119番



## 野外活動の留意事項

楽しい野外活動も、安全上の注意を怠ると悲しい事故につながる危険が待ち受けています。安全管理に対する正しい理解と具体的な対策をしておくことで、事故を未然に防ぎましょう。

### 1 安全管理の基本的な考え方

- (1) 想定できる危険を予知し、そのための対策を徹底的に行いましょう。
- (2) 万が一の時を想定して対策を練っておくとともに、引率者に対する教育を徹底して行いましょう。
- (3) 利用者には自分の身の安全は自分で守ることを徹底させ、「自己責任」の考え方で様々な活動に臨むということを身につけさせましょう。
- (4) 利用者が未成年の場合は、保護者に活動の趣旨、内容などきちんと伝えたくえで参加してもらいましょう。

### 2 参加者自身に安全対策の意識を

- (1) 野外の活動では、子どもたちの中に危険を予知する能力、危険を避ける技術や行動力・態度などが、実体験をとおして身に付く絶好の機会です。「危険だからやめなさい」ではなく、参加者自身にどこにどんな危険がひそんでいるのか、何が危険なのか、どうすれば防ぐことができるのかなどについて、あらかじめ考える機会をつくったり、主体的に身を守る意識を持たせたりして活動に入りましょう。

### 3 様々な危険

- (1) 動植物が原因（マダニ、ハチ、毒ヘビ、ムカデ、ハゼ、カヤ、ツツガムシなど）
- (2) 気象条件（天候の急変、落雷、強風、台風など）
- (3) 地形的条件（転落、落石、急斜面、岩場など）
- (4) 水的条件（水温、水深、水流など）
- (5) 活動技術（道に迷う、転ぶ、落ちる、溺れるなど）
- (6) 用具の操作技術（切り傷、やけど、刺し傷など）
- (7) 疲労や心理的要因（判断ミス、パニック、過度の興奮など）
- (8) 心身の健康状態と衛生管理（発熱、生理痛、便秘、下痢、食中毒など）
- (9) 引率側の過失（無理な計画、下見の未実施、引率者相互の共通理解不足など）



### 4 事前にしておくこと

- (1) 綿密な計画案及び安全上のチェック
- (2) 下見の実施と自然の家職員との打ち合わせ
  - ①時期 : 計画作成段階（1ヶ月前）で最低1回は実施し、できれば直前に再度実施することをお勧めします。
  - ②下見を行う引率者 : 引率者全員が揃って行うことが理想的です。できない場合は、ビデオやカメラなどの画像をとおして後日確認するなどしましょう。
  - ③下見のポイント : コース及びエリアの確認・コース上想定される危険と対処方法・引率者の配置・車両輸送路の確認・救急医療機関の確認
- (3) 計画の再点検
- (4) 参加者及び参加者の保護者への事前説明会の実施  
※保護者説明会がどうしてもできない場合は、文書での説明と参加にあたっての同意を得ておきましょう。

- (5) 傷害保険への加入
- (6) 救急医療品の準備
- (7) 緊急体制の整備とその運用及び救急処置についてのリハーサル
- (8) 引率者全員での安全管理上の最終確認

## 5 実施中の安全管理

- (1) 気象条件の把握  
(現在の状況の把握、予報、過去 1 週間の天候（土砂崩れや落石の予知）)
- (2) 危険箇所の現状確認
- (3) 移動の際の安全管理
- (4) 参加者の人数及び健康状態の把握
- (5) 特別に配慮を要する参加者の把握
- (6) 引率者の配置と円滑な連絡
- (7) 指導者自身の安全管理と健康管理
- (8) 万が一の事を想定して冷静に判断できる体制

## 6 万が一の時の対応

- (1) 冷静に判断する
- (2) 無理をせず自分自身の安全管理を忘れない
- (3) 事故者以外の人たちの安全管理をする
- (4) 周囲の状況や事故者の様子を把握し、直ちに何をすべきか判断し行動に移す
- (5) 団体の責任者及び自然の家への連絡を行い、状況によっては指示を仰ぐ

## 7 応急処置

- (1) 傷口の消毒
  - ①水で洗い流す
  - ②消毒・殺菌をする
  - ③傷口の保護をする
- (2) 出血を止める（止血法）
  - ①傷口をおさえる  
(ひどい出血でない限り、清潔な布またはハンカチやタオルで傷口を強く圧迫する。通常、この処置でかなり効果がある)
  - ②傷口を高く上げる（出血が止まらない場合は、傷口をおさえたまま心臓より高く上げる）
  - ③局所的に血液の流れを止める  
(素人が行うと取り返しのつかない時があるので、あくまでも最終的な手段です)  
※すり傷などの軽傷で十分な対応が可能な症例以外は、あくまで医師の治療を受けるまでの応急処置と心得ておいてください。どちらか悩む時は、必ず医師の診断を仰ぐべきです。

## 8 救急セットの準備 (例)

消毒液 傷口ばんそうこう 三角巾 包帯 ガーゼ テーピングテープ  
 湿布 生理用ナプキン とげ抜き 脱脂綿 抗ヒスタミン軟膏  
 虫よけ など



# マダニ対策、今できること

1. マダニの生息場所
2. マダニから身を守る服装
3. マダニから身を守る方法
4. 忌避剤の効果



**マダニ対策に関するお問い合わせ**  
 国立感染症研究所疫学医学部  
 Tel: 03-5285-1111 (代案)  
 Fax: 03-5285-1178  
 e-mail: info@nih.go.jp

**SFTS対策委員会**  
 国立感染症研究所  
 Tel: 03-5285-1111 (代案)  
 厚生労働省健康政策課 感染症対策室  
 Tel: 03-5253-1111 (代案)

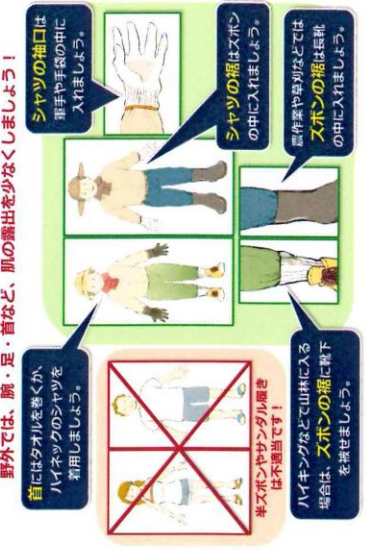
## 1. マダニの生息場所



**マダニ**は、民家の山や裏庭、畑、お住いなどにも生息しています。

**マダニ**は、シカやイノシシ、野ウサギなどの野生動物が出没する草場にも多く生息しています。

## 2. マダニから身を守る服装



野外では、腕・足・首など、肌の露出を少なくしましょう！

前にはタオルを巻くか、ハイネックのシャツを着用しましょう。

シャツの袖口は、手手や手袋の中に入れてみましょう。

シャツの裾はスポンの中に押し込みましょう。

ズボンやスカートは履き足は不要です！

ハイキングなど山に入る場合は、ズボンの裾に靴下を挿せましょう。

## 3. マダニから身を守る方法



**上着や作業着**は、家の中に持ち込まないようしましょう。

屋外活動後は、**シャワー**や入浴で、**タダニ**が付いていないかチェックしましょう。

**カムテーム**を使って肌に付いたタダニを取り除く方法も効果的です。

タダニの多くは、長時間(10日間以上)のことも吸血します。吸血中のマダニを無理に取り除こうとすると、マダニの口器が皮膚の中に残り、皮膚科等の医療機関で、適切な処置(マダニの除去や処置など)を受けて下さい。

**マダニ**に咬まれたら、咬傷程度は体調の変化に注意し、野焼きの症状が認められた場合は、医療機関で診察を受けて下さい。

## 4. 忌避剤の効果



海外ではマダニ対策に**忌避剤(虫よけ剤)**が使用されていますが、日本には、マダニに効果的とされている忌避剤は今のところありません。

日本では、ツツガムシ(タニ目ツツガムシ科)を忌避する用途で、衣類に塗布して使用する忌避剤(医薬品)が複数市販されています。

このように忌避剤を使用し、**マダニ**に対して一定の**忌避効果**が得られることが確認されました。

**ディート(忌避剤)**の使用でマダニ刺刺は減少しますが、マダニを完全に防ぐわけにはいきませんが、忌避剤を効果的に、様々な防護手段と組み合わせれば対策を取ってください。

## 参考資料 2) マダニ媒介SFTSとは

**重症熱性血小板減少症候群 (Severe fever with thrombocytopenia syndrome: SFTS)**

これまで、**中国・日本・韓国**でSFTSの患者が報告されています。中国では**ツタノコ**と**オウマダニ**からウイルスが見つかっています。

2013年は、**西日本**の12県でSFTS患者が報告されています。**191例**が報告されています。

2013年のSFTS患者は、**5月に多く発生**しています。

2013年1月1日以後に報告された患者(合計3名)は**40代以上**でした。

SFTS患者の性別年齢別発生数

性別	年齢	発生数
男性	30代	13名
	40代	21名
	50代	1名
女性	40代	4名
	50代	6名
	60代	10名
合計		66名

2013年の患者発生数

県	発生数
徳島	3
香川	3
高松	3
愛媛	3
高知	3
福岡	3
佐賀	3
熊本	3
大分	3
宮崎	3
鹿児島	3
沖縄	3
合計	36名

2013年の患者発生月

月	発生数
1月	0
2月	0
3月	0
4月	0
5月	10
6月	10
7月	10
8月	10
9月	10
10月	10
11月	10
12月	10
合計	36名

資料は、国立感染症研究所から提供されています。  
<http://www.nih.go.jp/nihs/infocent/sfts/inf.htm>

## 参考資料 3) マダニの生活環



## 参考資料 1) マダニの分類とマダニ媒介感染症

**マダニ**は、世界中に800以上の種が知られています。そのうち日本には47種が生息しています。

**マダニが媒介する感染症**

(1) 人体に寄生する種

日本紅斑熱 (リケツチ病)  
 Q熱 (リウマチ)  
 ライム病 (スヒロヘーチ)  
 ボレリア症 (細菌)  
 野馬病 (細菌)

重症熱性血小板減少症候群 SFTS (ウイルス)  
 ダニ媒介性脳炎 (ウイルス)  
 キヤサナル森林病 (ウイルス)  
 クリミア・コンゴ出血熱 (ウイルス) など

**マダニ科 (6属47種)**  
 マダニ属 Ixodes  
 チマダニ属 Haemaphysalis  
 キラマダニ属 Amblyomma  
 カクマダニ属 Dermacentor  
 コイタマダニ属 Rhipicephalus  
 コウマダニ属 Anoplocephala

**ヒメダニ科**  
 ヒメダニ属  
 カスキダニ属

**ダニ目**  
 節足動物門

# 主な研修活動の紹介

	活動プログラム	活動の概要及び諸条件等	所要時間の目安	料金（一人当たり）	備 考
野外活動	観音岳ハイキング登頂コース	標高657m(急斜面の道あり) 約8km	4時間 (昼食時間を除いた時間)		高学年向け
	観音岳ハイキング冒険コース	樹齢約400年の天狗杉を目指すコース 約6km	3時間 (昼食時間を除いた時間)		
	権現山ハイキング	標高549m(敷地内の山) 約1.3km	1時間		近くにアスレチック・草そり場あり
	ニジマスつかみ	つかむ・さばく・食べるを体験する食育活動	2時間 (川までの往復時間除く)	400円/1匹	10匹以上の注文から受付・雨天可
	沢登り	上流を目指し、なだらかな川を登っていく活動 約600m	1時間30分～2時間 (川までの往復時間除く)		水着・替え靴要(高学年向け)
	ターザンリバー	ターザンロープを使って水深4mの川に飛び込むチャレンジ体験活動	1～2時間 (川までの往復時間除く)		水着・替え靴要(低学年向け)
	Qハンティング	地図と写真を元に隠されたクイズを見つけるゲーム	2時間		
	フライングディスクゴルフ	フリスビーでホールインワンを目指しながら18コースを回る活動	2時間		
	ネイチャーゲーム	自然の中で新たな発見や気づきが得られる体感活動	1時間30分		
	自然を感じるビンゴ	自然をより身近に感じることができるビンゴゲーム	1時間30分		低学年向け
	アニマルフィールドビンゴ	敷地内に隠された動物カードを探すゲーム	2時間		幼児向け
	草そり	風を感じながら70mの急斜面をすべり降りる体験活動	1時間		そり35台あり
防災活動	野外炊飯	キャンプ場炊事棟 キャンプ場利用者優先	3時間	薪 300円/1束	道具の貸出あり・雨天可
	ドームテント設営	全10サイト キャンプ場利用者優先	1時間		テント(無料)の貸出あり
	火起こし体験	古代発火具(マイキリ式)を使って火おこし体験	1時間	650円/1台	屋外活動
交歓活動	ナイトゲーム	フルコース 約1.73km(1周40分) 引率者7名要	2時間		引率者は各ポイントで見守り
		記念碑コース 約1.5km(1周30分) 引率者4名要	2時間		
		お堂コース 約1.75km(1周30分) 引率者5名要	2時間		
	ナイトハイク	自然の家職員が先導し夜道を散策	1時間		懐中電灯全員要
	キャンプファイヤー	營火場で火を囲む交歓活動 丸太で薪組(高さ約1m)	2時間	薪組 4000円/1組	薪組み等持込可
	ミニファイヤー	營火場で火を囲む交歓活動 薪で薪組(高さ約50cm)	1時間	薪組 1000円/1組	薪組み等持込可
	キャンドルのつどい	静かにキャンドル台の火を囲む交歓活動	2時間		室内活動
	チャレンジランキング	身近な道具を使ったミニゲームで記録に挑戦	2時間		
	イニシアティブゲーム	グループでの課題解決力を深める活動 引率者支援要	1時間30分		
	ガガ	囲いの中で行う新感覚ドッチボール	1～2時間		
	ベタンク	ボールを転がして的近づく簡単なスポーツ	1～2時間		
	モルック	木の棒を投げてピンを倒し、50点ちょうどを目指すスポーツ	1～2時間		

	活動プログラム	活動の概要及び諸条件等	所要時間	料金(一人当たり)	備 考
創作活動	木工ペンダント	輪切りの木を磨き絵を描くペンダント作り	1時間	50円	木をやすりで削り絵を書く活動 幼児・低学年向け
	木工ストラップ	輪切りの木を磨き絵を描くストラップ作り	1時間30分	100円	木をやすりで削り絵を書く活動 1番人気の創作活動
	木工カスターネット	輪切りの木を磨き絵を描くカスターネット作り	2時間	150円	2枚の木を両面やすりで削るため 高学年向け
	竹箸	竹を小刀で削るマイ箸作り	1時間	50円	小刀を使用するため高学年向け 小4以下は保護者同伴・雨天不可
	葉っぱのマグネット	葉っぱをかたどったマグネット作り	1時間	100円	ホットボンド使用のため高学年向け
	焼き杉	杉板を焼き・磨き・絵を描く壁掛け作り	1時間30分	150円	ガスバーナー使用(一部屋外活動)
	まが玉	滑石を3種類のやすりで磨くまが玉作り	2時間	300円	滑石をやすりなどで削っていくため高学年向け 小3以下は保護者同伴
	プラホビー	プラ板に自由に絵を描くキーホルダー作り	1時間	100円	下絵持参可
	竹トンボ	オリジナルデザインの竹トンボ作り	1時間	100円	絵を書くだけの活動のため幼児向け
	紙ブーメラン	三枚羽根のブーメラン作り	1時間	50円	厚紙をハサミで切るため高学年向け
	ストーンペインティング	川で拾った石に自由に絵を描く作品作り	1時間 (川までの往復時間除く)	50円	拾ってきた石にボスカで絵を書く
	ジャンボシャボン玉	直径15cmの大きなシャボン玉作り	1時間	300円	1セット2L(5~6人)で提供 少人数向け
	切り絵	下絵をカッターで慎重に切り抜く作品作り	2時間30分	120円	カッターナイフを使用するため高学年向け 下絵持参可
	※ クリスマスリース	手作りのかずらリースに飾り付けをする作品作り	2時間	300円	11月~12月限定 ホットボンド使用
	※ 門松	孟宗竹を切るところから始める本格的ミニ門松作り(高さ約40cm)	3時間	500円	12月限定 小学生以下は保護者同伴
	※ 手乗り門松	真竹を使った手のひらサイズのミニミニ門松作り(高さ約15cm)	2時間	150円	12月限定 小学生以下は保護者同伴
	※ ミニしめ縄	わらを使った本格的なミニしめ縄作り(直径20cm)	2時間	200円	12月限定 小学生以下は保護者同伴
	※ 凧	竹ひごとビニールで作る凧作り	1時間30分	200円	1月~2月

※期間限定

## プログラムの作成について

### 1. 研修の目的を考えましょう

自然体験 集団活動 研修 仲間作り 親睦 等

- 学校や家庭で体験できないような活動を積極的に取り入れましょう。
- 年齢や体力にあった活動であるか考慮しましょう。
- 集団生活のマナーにも配慮しましょう。

### 2. 全体の流れを考えましょう

- ひとりひとりがリーダーとして活動できる場面や、仲間と協力する活動をできるだけ多く取り入れましょう。
- プログラムの単なるつなぎ合わせにならず、一貫した“めあて”を持って体得できるように心がけましょう。
- 研修場所や活動場所は、必ず事前の下見をお願いします。

### 3. 時間にゆとりを持って計画しましょう

- 菊池少年自然の家の基本日課をベースに、ゆとりあるプログラムにしましょう。
- 雨天時のプログラムも必ず計画しましょう。
- ※ プログラムの内容は、自然の家のプログラム以外に各団体で考えたオリジナルのプログラムでも構いません。

※ プログラムの作成で分からない時は、お気軽にご相談ください。

## 入所式

～ ね ら い ～

自然の家の生活や決まりを理解し、活動への意欲を起こす。

☆「入所式」の意義や役割分担等、事前指導を十分に行ってください。

☆「入所式」の進め方は、各団体の目的等に応じて計画してください。

☆入所式の進行は入所団体でお願いします。

※原則として入所式は、単体で行います。但し、入所時間等が同じ団体があれば、合同で行う場合もあります。  
その際は、団体同士で事前に話し合い役割分担を決めておいてください。

<入所式（例：約15分）>	
1 はじめのことは	「これから入所式をはじめます。」
2 入所団体の挨拶 （校長・教頭先生等の代表者）	「〇〇学校のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
3 菊池少年自然の家職員挨拶	「菊池少年自然の家の職員の方のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
4 児童・生徒代表挨拶	「〇〇学校〇〇さんの代表のあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
5 おわりのことは	「これで入所式をおわります。」

入所式終了後にオリエンテーションを行います。（20分程度）（他団体と合同で行う場合もあります。）

## 退所式

～ ね ら い ～

自然の家の生活を振り返り、思い出を新たにすると共に、今後の生活に生かそうとする意欲を持たせる。

☆「退所式」の意義や役割分担等、事前指導を十分に行ってください。

☆「退所式」の進め方は、各団体の目的等に応じて計画してください。

☆退所式の進行は退所団体でお願いします。

※原則として退所式は、単体で行います。但し、退所時間等が同じ団体があれば、合同で行う場合もあります。  
その際は、団体同士で事前に話し合い役割分担を決めておいてください。

<退所式（例：約15分）>	
1 はじめのことは	「これから退所式をはじめます。」
2 児童・生徒代表感想発表	「〇〇学校の〇〇さんの代表感想発表です。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
3 退所団体の挨拶 （校長・教頭先生等の代表者）	「〇〇学校のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
4 菊池少年自然の家職員挨拶	「菊池少年自然の家の職員の方のごあいさつです。よろしくお願いします。」 （終了後）「ありがとうございました。」
5 おわりのことは	「これで退所式をおわります。」

## 夕べのつどい（任意）・朝のつどい

～ ね ら い ～

1日の終わりと始まりのけじめをつけるとともに、利用者の体調管理を行う。

☆実施場所：晴天時…集いの広場、雨天時…体育室

※原則として朝のつどいの参加をお願いしております。夕べのつどいは任意で団体での実施をお願いしております。

### <夕べのつどい（例）>

- 1 開会のことば
- 2 感想発表
- 3 国旗・県旗・所旗の降納（旗係）
- 4 閉会のことば

### <朝のつどい（例）>

- 1 開会のことば
- 2 国旗・県旗・所旗の掲揚（旗係）
- 3 ラジオ体操（体操係）
- 4 菊池少年自然の家職員のあいさつ
- 5 閉会のことば

### 夕べのつどい 進行係のことば（例）

- 1 開会  
「姿勢を正してください。こんばんは。  
〇月〇日〇曜日、夕べのつどいを始めます。」
- 2 感想発表  
「今日一日を振り返って感想発表をお願いします。」  
「ありがとうございました。」
- 3 旗の降納  
「国旗・県旗・所旗の降納を行います。旗係の皆さん  
お願いします。」  
「帽子を取り、姿勢を正して旗に注目してください。」  
「ありがとうございました。旗係の皆さんに拍手を  
お願いします。」
- 4 閉会  
「それでは、姿勢を正してください。これで、  
〇月〇日〇曜日、夕べのつどいを終わります。」

### 朝のつどい 進行係のことば（例）

- 1 開会  
「姿勢を正してください。おはようございます。  
〇月〇日〇曜日、朝のつどいを始めます。」
- 2 旗の掲揚  
「はじめに国旗・県旗・所旗の掲揚を行います。  
旗係の皆さん、お願いします。」  
「帽子を取り、姿勢を正して旗に注目してください。」  
「ありがとうございました。旗係の皆さんに拍手を  
お願いします。」
- 3 ラジオ体操  
「体操を行いますので、体操ができるように広がって  
ください。体操係は、前に出てきてください。」  
「体操係にも拍手をお願いします。元の隊形に  
集まってください。」
- 4 自然の家のあいさつ  
「菊池少年自然の家の職員の方のごあいさつです。  
よろしくおねがいします」  
（終了後）「ありがとうございました。」
- 5 閉会  
「それでは、姿勢を正してください。これで、  
〇月〇日〇曜日、朝のつどいを終わります。」

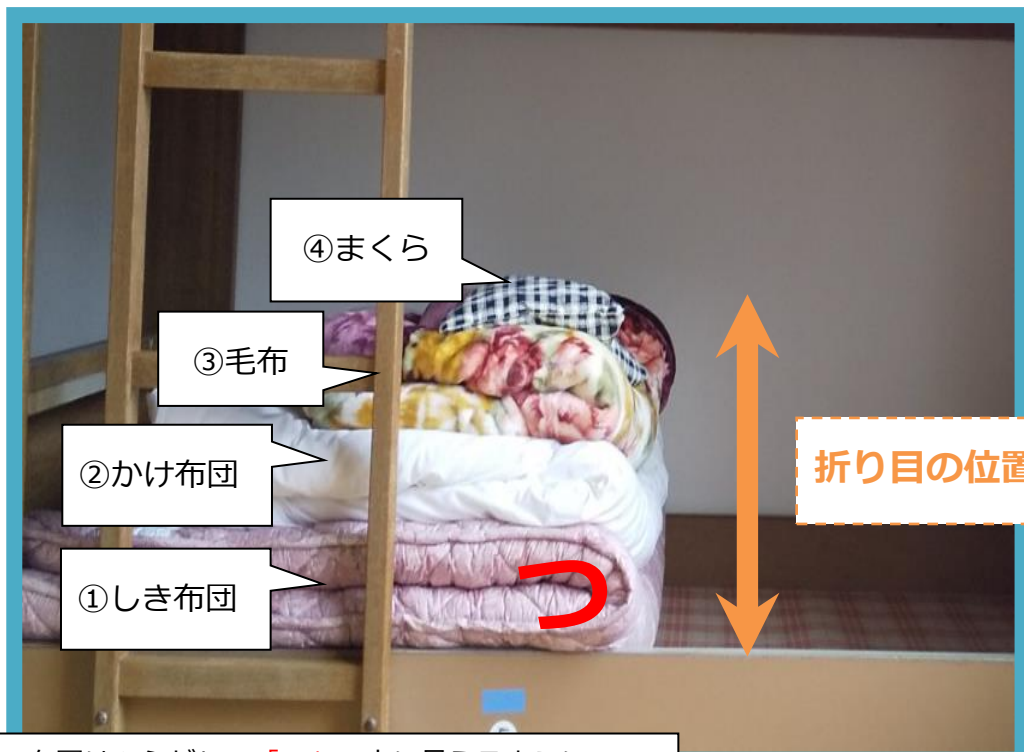
しんぐせいり みほん  
寝具整理の見本

(2階) 右に寄せる



ハンガーは2本あるか  
チェックしよう!

左に寄せる (1階)



1階の布団はひらがなの「つ」の字に見えるように。  
2階の布団は反対に「く」の字に見えるように。  
折り目をベッド中央に向けるのがポイントだよ!



# しんぐ 寝具のたたみ方

## しき布団

①



②



2つ折りして完成!

## 毛布

①



1回

②



2回

③



3回

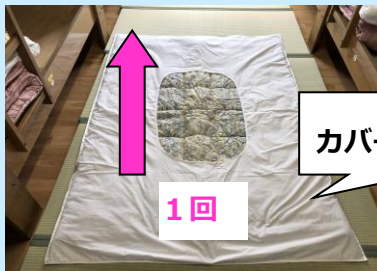
④



完成!

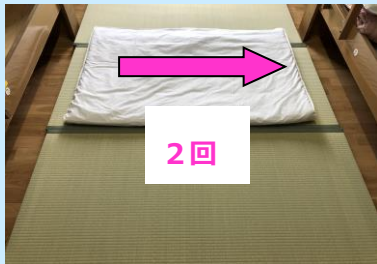
## かけ布団

①



1回

②



2回

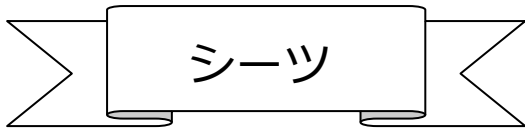
③



完成!

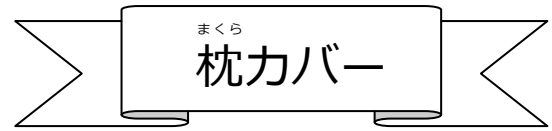
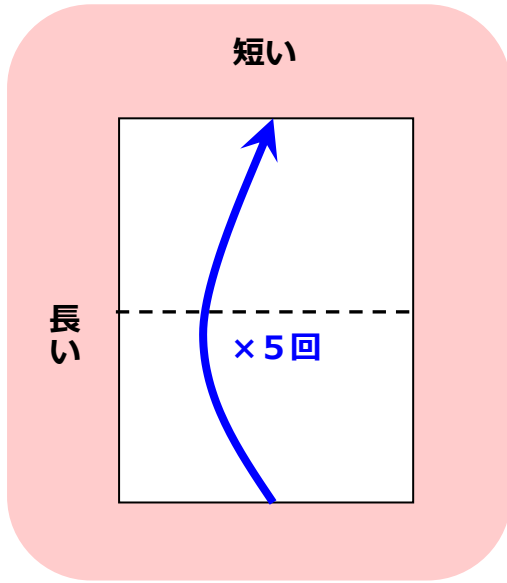
はし そろの  
端を揃えて、しわをきれいに伸ばそう!



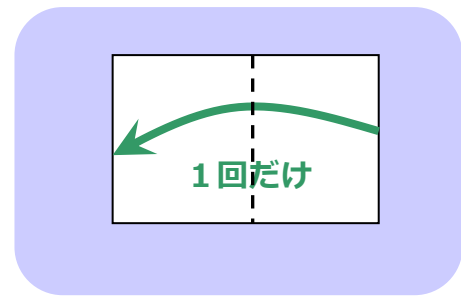


長い方を折り返す。

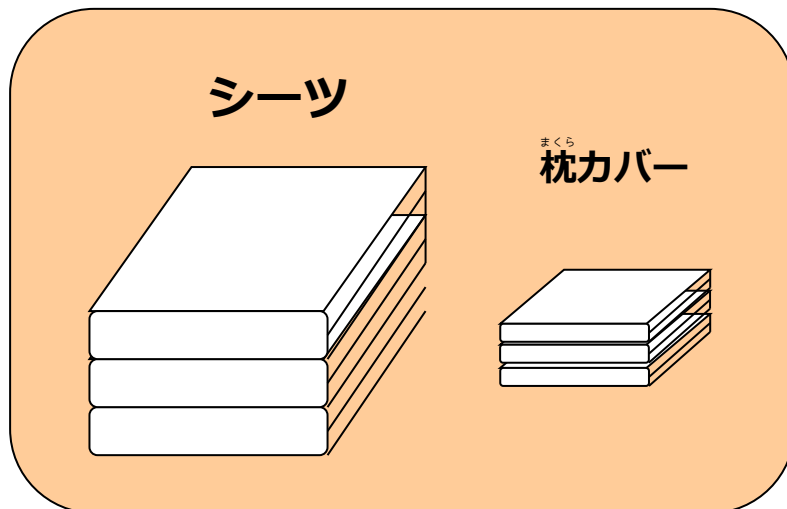
これを<sup>5かい</sup>5回くりかえす。



長い方を 1 回折り返す。



それぞれ数えやすいように重ねよう！



# 部屋点検の流れ

- ①各団体の代表者（引率者）に点検してもらう
- ②自然の家の職員に点検してもらう
- ③自然の家の職員から『合格』をもらう
- ④シーツ・枕カバーをリネン室前の袋の中に入れる



つぎ ひと きも つか  
次に来る人も気持ちよく使えるように  
ないう かくにん  
下の①～⑥の内容も確認しよう！

- ① シーツ、枕カバーの枚数は合っていますか？
- ② 寝具は見本のとおり整理されていますか？
- ③ ハンガーは「2本」ずつかかっていますか？
- ④ カーテンは開けてから紐でしばっていますか？
- ⑤ すみずみまで掃除されていますか？
- ⑥ 忘れ物はありませんか？

最後までがんばったね！  
きれいにしてくれてありがとう☆



# キャンプ場利用について

## 1 利用申込みについて（利用期間：通年）

本館利用に準じています。

## 2 施設

テントサイト：A サイト…10サイト、B サイト…10サイト

炊事場：A・B サイト各1ヶ所 管理棟

つどいの広場 トイレ：A サイト1ヶ所 シャワー室（温水）：男女各シャワー4基

## 3 収容人数

100人程度

## 4 使用料

P11「必要経費」、P19～20「活動プログラム一覧」参照

## 5 服装及び準備品について

(1) 活動にふさわしい服装で参加してください。

(2) 帽子軍手・懐中電灯は、必ず準備してください。

(3) 団体の準備物

雨具 タオル 帽子 着替え 軍手 防寒着 懐中電灯 水筒

毛布・タオルケット（レンタル毛布 1枚550円） 洗面用具 虫よけスプレー

食器 箸 新聞紙 マッチ等 ごみ袋 洗剤 クレンザー 布巾

キッチンペーパー 救急用品 その他活動に必要な用具等

※バーベキューの場合 網（40cm×60cm） 炭 その他調味料など

(4) 貸出可能用具

設営用ドームテント 銀マット 炊事用具一式

バーベキュー台セット（バーベキュー台、トング、火ばさみ）

## 6 利用上の注意

(1) キャンプ場利用の際は、大駐車場に駐車してください。ただし食材等の搬入・搬出については、キャンプ場入り口まで車両進入可能です。

(2) テント内では以下のことに注意してください。

①喫煙・蚊取り線香などの火気は厳禁です。

②虫が寄ってきますので出入り口の網戸のファスナーは閉めましょう。また飲食は禁止です。

③消灯後は、静かに休みましょう。起床の時間になるまでは、テントの中で静かに待ちましょう。

(3) シャワー室・トイレでは以下のことに注意してください。

①シャワーを出すときは温度に気をつけましょう。

②シャワーはこまめに止めるようにし、節水に心がけましょう。

③カーテンを閉め、脱衣所が濡れないようにしましょう。

④トイレでは、備えつけの紙以外は使わないようにしましょう。

(4) 各活動の後片付けは、団体が責任を持ってきちんと行ってください。

①調理後の灰は、消火確認後、灰捨て場に捨ててください。

②ゴミはお持ち帰りください。

(5) 野外調理については、「野外調理をされるみなさまへ」(P29)をご確認ください。

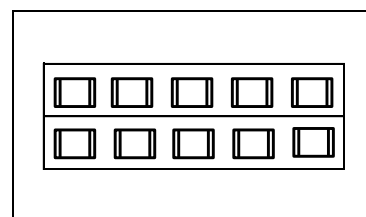
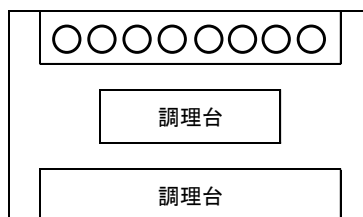
- (6) 食中毒防止のため、食材には必ず火を通すようにしてください。  
 なお食材は自然の家が提供する食材一覧より注文をお願いします。  
 ※食材を持ち込む場合は全食持ち込みをお願いします。
- (7) 野生動物の被害にあわないように食べ物の保管には留意してください。
- (8) 施設や道具、自然を大切に、「来た時よりも美しく」を心掛けましょう。
- (9) 林野火災の恐れがあるため、火気の取り扱いには十分注意してください。

## 7 キャンプ場見取り図

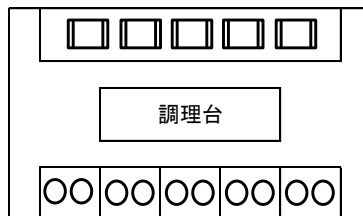


※管理棟の冷蔵庫は1台ですので、  
 クーラーボックスをご持参ください。  
 同日に複数団体ご利用の場合は、共用して  
 いただくことがあります。

Aサイト炊事場



Bサイト炊事場



○ …水道  
 □ …かまど

## 野外調理をされるみなさまへ（必ずお読みください。）

熊本県立菊池少年自然の家

施設内への食品、食材の持ち込みは原則禁止となっております。

### 1 食材調達・管理について

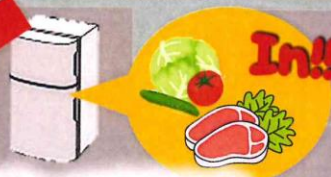
(1) 野外炊飯で使用する食材は、新鮮なものを使用し、冷蔵庫にて温度管理を徹底しましょう。

(2) 肉や魚はビニール袋や容器に入れ、

**平成25年度から食材の持ち込みは禁止となっております。**

(3) 食材の運搬に時間がかかる場合は、施設近隣で購入し、食材の鮮度を確保しましょう。

(4) カキなどの貝類を使ったバーベキューは禁止とします。



### 2 野外調理を始める前に

(1) 参加者の事前の**健康観察**を必ず行いましょう。

（体調不良者や同居家族に感染者等がいた場合などは、調理に参加しないようにしてください。）

(2) 参加者全体に衛生管理の意識をもっていただくよう、注意喚起をしてください。

(3) 爪の間や手首まで石鹸等で丁寧に洗いをしましょう。



### 3 野外調理中

(1) 調理器具を一度きれいに洗ってください。

(2) 野菜は、しっかり水洗いをしてください。

(3) まな板と包丁は、「肉用・野菜用」で使い分けをしましょう。

また、バーベキュー等で生肉を扱う場合は、生肉専用のトングを使用しましょう。

(4) バーベキューを行う場合は、照明器具などを利用して食材に火が通っているか確認できるようにしましょう。

(5) 肉を処理した後も手洗い・消毒を行ってから次の作業へ移るようにしましょう。

(6) おにぎりをつくる場合は、手洗い・消毒を徹底するとともにラップや使い捨て手袋を使用して作りましょう。



(9) 加熱して調理する食品は、十分に加熱してください。

**※ 中心部温度 75℃で（ノロウィルス対策には 85℃以上）1分以上**

(8) 調理後はすぐに食べましょう。



### 4 野外調理終了後

(1) 使用した調理器具をきれいに洗ってください。

(2) 体調不良者がでた場合は速やかに自然の家までお申し出ください。



## アクセス access



### 1 菊池市内から車で約20分

菊池神社前の坂を上り（国道387号線を使って）菊池渓谷方面を目指す

### 2 ポイント

- (1) 国道387号線から、菊池神社の手前、立町交差点を右折 ※左側に「肉の有働」がある交差点
- (2) ここから少年自然の家まで約12km
- (3) 右手にラーメン屋「いがぐり苑」が見えたら、およそ半分まで来ている
- (4) 左手に「デリーストア」、右手に「エミュー観光牧場」まで来たらその先1kmほどで左折
- (5) 右手に水源駐在所が見えたら間もなく
- (6) 左に鋭角に曲がる坂道あり、ここを曲がる・・・写真①  
 ※左手に黄色の「菊池少年自然の家」の看板あり  
 ※左手に大きな黄緑色のブドウのオブジェがある佐々木農園まで行ったら行き過ぎ  
 この曲がり角は「エネオスのガソリンスタンド」の約1kmほど手前
- (7) 狭い坂道を3kmほど登ったら、菊池少年自然の家  
 ※狭くて見通しの悪い山道だが、交通量が多いので注意を！  
 ※途中、「菊池カントリークラブ」へ行くための左への道があるが、道なりに進む・・・写真②  
 ナビは左へ通すことがあるが、マイクロバスは通れないので注意。

写真①



写真②



## 飲酒についてのお願い

本所では、利用者の皆様へ、飲酒について下記のことをお願いしております。ご理解の上ご協力をお願いいたします。

### 記

1. 本施設では以下の理由により原則、飲酒を禁止しております。
  - (1) 本所は青少年教育施設であり、飲酒を伴う研修はご遠慮いただいております。
  - (2) 食中毒防止や虫の侵入を防ぐため、本所宿泊室内への飲食の持ち込みは禁止しております。
  - (3) 県教育長より、学校関係の宿泊を伴う行事で児童・生徒を引率する際、飲酒を行ってはいけないとの指導があります。
  - (4) 飲酒により他団体への迷惑行為につながる可能性があります。
  - (5) 車を伴う引率の場合、飲酒運転での事故につながる可能性があります。
  - (6) 翌日の活動や、児童・生徒の引率に影響が出る可能性があります。安全に活動を行うために飲酒は行わないでください。
2. 無断で飲酒が行われた場合、問題が起こっても本施設は一切責任を負いません。

熊本県立菊池少年自然の家

(指定管理者) ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体

代 表 中川 保敬

## 不審者対策

利用者の皆様に安心して本施設を利用していただくために、次のことにご協力ください。

- 1 入所団体の方は必ず名札をつけてください。食事中及び入浴後もお願いします。  
遅れて入所されます方や活動の応援等でいらっしゃる方にも着用をお願いしています。
- 2 入所関係車両は、本施設が発行いたします駐車許可証を見えるところに提示してください。  
駐車許可証のない車両は駐車されないようにお願いします。
- 3 本館前の駐車は、利用者の安全確保のためご遠慮ください。
- 4 リーダー棟に向かう渡り廊下のドアは常に施錠してください。  
リーダー棟をご利用の方は、リーダー棟の鍵を受け取りに来てください。
- 5 活動や食事、入浴等で部屋を離れるときは、窓の施錠を確実に行ってください。
- 6 就寝時には窓の施錠をしてください。
- 7 退所時は部屋点検後、施錠してください。
- 8 引率者及び活動協力者は必ず本館玄関から出入りしてください。
- 9 不審者らしき者を発見された場合は直ちに職員に知らせてください。
- 10 異常が発生した場合は職員の指示に従ってください。

熊本県立菊池少年自然の家  
(指定管理者) ひとつくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体  
代表 中川 保敬

## 「食」の安全を提供するために

本所では「食」の安全を提供するために、下記のことを利用者の皆様をお願いしております。ご理解の上、ご協力をお願いいたします。

### 記

#### 《食物アレルギー対応について》

- 食物アレルギー確認票を利用2週間前までにご提出ください。  
(必要に応じてアレルギー個人票もご提出ください)
- 入所当日に食物アレルギーについて再度確認いたします。
- 団体での食物アレルギー担当者を事前に決めておいてください。
- 食事時間の10分前に、アレルギー対応者と引率者1名(団体での食物アレルギー担当者)は食堂前に集合してください。当日の検食者と食堂職員も交えて、アレルギー対応について説明いたします。
- アレルギー対応食(除去食または代替食)を確実にご確認ください。
- 検食者の前で対応食を受け取ってください。
- 食事の際は担当者は食物アレルギー対応者と一緒に食事をお取りください。  
(おかわり等での誤食を防ぐため)
- 他の入所者の食器等に、食物アレルギー対応者が触れないようにご注意ください。  
アレルゲンに触れただけでアレルギーの症状が出る場合があります。
- 万が一、食物アレルギーの症状が出た場合は直ぐに事務室にお知らせください。

#### 《食中毒防止及びノロウイルス対策について》

- 食中毒予防にもノロウイルス対策にも一番大切なのは手洗いです。手洗いを徹底させてください。
- 食事前は必ず石鹸で手洗いをさせてください。  
食事前の手洗いの時は団体の方が手洗いの様子を見てください。
- ハンカチやタオルの使い回しはさせないでください。(ひとり1枚)
- 万が一、嘔吐した場合は、次のように処理してください。
  - ・処理用として、使い捨て手袋、使い捨てマスク、新聞紙、次亜塩素酸ナトリウム、ビニール袋を常備しております。処理には必ずお使いください。
  - ・処理に使った防具はすぐにビニール袋に入れて密閉してください。
  - ・食堂の場合…食堂職員および事務室にいる職員にすぐに連絡してください。  
食器等は別処分します。返却口には持ってこないでください。
  - ・部屋の場合…汚れた寝具はすべてビニール袋に入れてください。
  - ・処理中、処理後の換気をしてください。
- ドアノブ、蛇口、階段の手すり、ベッドの手すり、食堂のテーブルなどには自然の家職員が次亜塩素酸ナトリウムで定期的に消毒しております。
- 野外から帰ってきたときやトイレに行った後には必ず手洗いを徹底してください。

熊本県立菊池少年自然の家  
(指定管理者) ひとつくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体  
代表 中川 保敬



〒861-1441 熊本県菊池市原4885番地5

# 熊本県立菊池少年自然の家

指定管理者：ひとづくり JAPAN ネットワーク・三勢共同体

---

TEL 0968-27-0066 FAX 0968-27-0880  
E-mail [kikusyo@hitodukuri.com](mailto:kikusyo@hitodukuri.com) HP <http://www.k-seishonen.com/kikuchi/>